

シリーズ **土地改良** のあしあと **川島土地改良区(四日市市)**



スイカ祭り

本地区は、三重県の北勢に位置する四日市市郊外の川島町にあり、国道1号線と名阪国道の中間に位置し、工業化、住宅・ゴルフ場開発など都市化が進むなか、貴重な農業資源である水土里を守ろうとの願いから、昭和63年に県営農地開発事業として着工し、途中には様々な問題が発生し山あり谷ありでしたが20余年の歳月をかけて造成された全区域115ha（内造成農地45.34ha、区画整理27.5ha）、組合員194名の区域です。

整備された農地では、毎年、都市近郊という立地条件を生かし周辺の住宅団地の住民も招いて、夏の「スイカ祭り」では区内で収穫したスイカ・キュウリ・カボチャなどを提供し、秋の「いもほり大会」では、近隣の親子連れが多数参加し、実際に「いも」掘りを体験してもらい、さらに地元小学校内に水田を開墾して昔ながらの米作り体験の指導を行うなど、様々な農業体験の場を設けることにより、地域農業の大切さや地産地消などをアピールしている。

また平成19年度からは、土壌改良の一環としてソバの栽培をしており9月下旬から10月上旬ごろまで、白いソバの花



スイカ祭り

が満開となり、地域住民の憩いの場を提供している。10月下旬にはソバの実を収穫し、地元でソバ粉に加工して販売するほか川島地区でのイベントにそば打ち体験などを企画するなど、四季折々の実りに感謝して地域住民との交流も図っております。

今後は、農地造成したことによる経営規模拡大に対応するため、生産組織の確立を図り、都市近郊農業としての産地形成の他、周辺の住宅団地の住民等を対象にした観光農業などの活動により、社会や消費者から認知される産地、地域作りを目指したい。そのため、当土地改良区は個々の農家の活力を引き出す活動と、土地の利用調整や遊休農地対策といった農業保全を目指し営農組合設立へも支援し、地域農業の活性化に寄与したいと考えています。



いもほり大会



いもほり大会